

進路だより

桜の聖母学院高等学校
進路指導部 NO13

平成 22 年 12 月 13 日

ごきげんよう。学校のアメリカザシキの葉もすっかり落葉しました。しかし、その枝には厳しい冬に備える来年の花芽(=休眠芽)が準備されています。3年生の皆さん、センター試験に向けて各教科の先生方のアドバイスを心に留めてあと30日余りを乗り越えて下さい。

今回の進路便りは今年の春、一般入試で合格した先輩方が後輩の皆さんに書き残したセンター試験に関するメッセージを紹介します。第一希望の大学合格(=目標突破)を胸に秘め一日一日、一時間一時間を大切に過ごしましょう。センター試験を受験する生徒の皆さん、気持ちを新たに冬休み課外を充実させてください。

風花先輩

筑波大学

情報学群

知識情報・図書館学類

菅野風花

3年生では、基礎の確認と演習。小さな紙にまとめて机の脇やドアに貼り付けたり、青ペン片手に教科書の隅々まで読んでみました。また、勉強の合間の息抜きも大切にしました。長時間の勉強はかなりきつかったが、合間に音楽を聴いたり、本を読んだりすることでリフレッシュし、良い集中力を保ちました。1年からの課外も受験のためになりました。全教科まんべんなく点数を取る必要のあるセンター試験直前の課外は、様々なテクニックを教えて頂き、とても役に立ちました。難関大学の問題も一皮剥けば基礎の集合、解く力は毎日の積み重ねで身につくものです。勉強方法は一人ひとり違うと思う。自分は何をしたいのか、どんな力を発揮できるのかを考え、自分の力を最大限活用し志望校に合格することを応援しています。

芽斐先輩

福島大学

人文社会学群

行政政策学類

渡邊 芽斐

私は3年生になったら課外には必ず参加しました。そのおかげで今までの総復習ができ、わからなかったこともわかるようになりました。特に、冬課外はセンター試験直前でとても大切です。また、私は、模試の判定が悪かった時、志望校をあきらめるか悩んだことがありますが、とにかくセンター試験に向けて過去問を何度も解いて、本番では、今までで最も良い点数を取ることができました。そのおかげでセンター利用の私立大学も合格することができました。最も重要なのはセンター試験だと思います。高校生は最後の最後まで伸びます。だから、どんなにつらくとも最後まであきらめないでください。

田中先輩

東北大学

文学部

田中愛美

私はずっと勉強を日常的なものとして受け入れてきました。わたしが一般受験をしようと思ったのは、その方法が私に一番似合っていると思ったからです。AOや推薦などの準備が忙しくて勉強が手につかなくなるという心配もありました。だから私は、自分できちんと勉強して、その実力で大学に合格しようという決心をしたのです。もちろんこれは簡単なことではありません。受験勉強をするには根気が必要です。特に国公立大学を受験するには1月にセンター試験、2月に前期2次試験を受験しなければなりません。

また、受験勉強には体調管理も必要です。本番の試験では休む訳にもいかないので、日頃から自分で体調を整えておかなければなりません。体を壊すまで勉強しないように注意することも大切です。

自分できちんと勉強して、その実力で大学に合格しよう!

武藤先輩

福島大学

人文社会学群人間発達文化学類文化探求専攻 武藤由佳

センター試験に向け、国語や英語はある程度学校の授業や冬季課外で理解することを心がけ、社会や理科などの暗記科目は毎晩、苦手な数学は休日を使ってたくさん復習しました。そしてセンター試験本番では、緊張をほぐすためにあえて休み時間には今までの確認を少しだけして、音楽を聞いたり、母にメールでテストの出来などを報告したりして、リラックスできるように心がけました。そして出来た実感があった時は大いに自信を持ち、出来なかったときは「自分ができるいんだからみんなもできないんだ。」と気持ちをポジティブに切り替えました。その結果、試験直前の勉強と気持ちのコントロールが上手くいったのか、私はセンター試験本番で今までの最高得点をとることができました。なんと一ヶ月前の模試よりも合計で約110点もアップしたのです。

社会や理科などの暗記科目は毎晩! 苦手な数学は休日を使ってたくさん復習!

益子先輩

東京大学

文科Ⅲ類

益子 裕子

冷静に自分の弱点を見つけ、次に何を勉強するか考え計画性を持つことも心がけました。本番はなるべく早く行って周りとは接触せず、一人で集中しようと思いました。センター試験では焦ったときもあり、対策が不十分だと感じて少し緊張しましたが、分かることを積み重ねて落ち着いて答えを出すよう心がけました。